

おのみ
尾野見地区ふるさとづくり委員会
TEL&FAX 099(487)8615

共生・協働の 地域社会づくり

世代を越え地域の人が 楽しく触れ合う場の創出を目指して

志布志市が取り組んでいる「共生・協働・自立」のまちづくり。「ふるさとづくり委員会事業」は、このまちづくりを推進するための事業の一つです。

ふるさとづくり委員会は、小学校区単位に設置され住民自らが地域の課題や対応を話し合いながら作成した地域活性化プランに基づき、地域の魅力を生かした活動を展開しています。

平成18年に設立された尾野見地区ふるさとづくり委員会は、「青少年健全育成」と「地域住民のふれあいと人づくり」をテーマに活動してきた旧松山町の住民組織「おのみ会」



「サンサン広場」でひまわりの種まき

を前身としています。同市の発足を契機に組織や名称を改めましたが、活動内容はそのまま引き継いで、現在に至っています。

同委員会の主な活動の一つが、平成16年に約80アールの山林を開墾して整備した「サンサン広場」を活用した取り組みです。この広場には、季節ごとに地域住民総出で、ヒマワリやコスモス、ソバなどを植えています。

「私たちがとって大切なことは、満開のヒマワリの光景よりも、種まきの作業です。地域の人々が一列になって種をまく。これこそが、私たちのふるさとづくりの原点です」と笑顔で語るのは、委員長の中島新互さん。

「サンサン広場」は、世代を越えた、人と人をつなぐ交流の場になっているようです。約2万本のヒマワリが満開になる7月頃には「ひまわりまつり」を開催し、マイ箸、マイコップ持参の呼びかけや環境学習会など、環境への配慮も行っています。

ゴミのリサイクル率が75・4%と市で日本一の志布志市において、こうした取り組みは、循環型社会に向けた取り組みのモデルにもなっています。



大谷山自然公園でのカブトムシ・クワガタムシのふ化場の整備

また、大谷山自然公園でのカブトムシやクワガタムシの人工ふ化場の整備や「おのみ焼き」と呼ばれる野焼きを行うほか、そば打ちや、かいらいもあめづくりなどの体験活動も実施しています。今年度は初めての試みとして、黒砂糖づくりに挑戦しています。



出来上がりが待ち遠しい「かいらいもあめ」づくり

同委員会の活動は男性が多く参加しているということも特徴的です。「お父さん方がどんな行事にも出てきますよ。何でも楽しく、面白くです。話し合いでアイデアが出ると、決してそれを否定しないところがいいところです。『おっ。それいいね。やろう。』となるんですよ」と、広報部長の中西浩二さん。

「尾野見でしかできないこと」にこだわりながらも、とにかく自然体。次はどんなことにチャレンジしていくのか、これからの活動が楽しみです。

代表者からひとこと



委員長の中島新互さん（左）と広報部長の中西浩二さん（右）

地域づくりはとにかく行動を起こすこと。最初は目に見えないけれど、結果は必ず形になって地域に還元されます。

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課（県庁9階） TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター（かごしま県民交流センター内） TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。